

# ☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和5年11月18日 VOL. 188

## 地域で一緒に考える 自分らしい最期の暮らし方

令和5年11月5日（日）大洲地区交流センターを会場に「第2回 ついすみ大洲発表会」【終の棲家を考える会 ついすみ大洲会長 十河惇子氏】を11月18日（土）青島北地区交流センターでは「第2回 ついすみ青島公開講座」【ついすみ青島会長 加藤久男氏】を市と共催で開催しました。「ついすみ」は最後まで自分らしく暮らしたいという願いを持ち、在宅医療や介護に関心を持つ会員により構成され、令和5年4月発足。現在、大洲地区と青島地区を拠点に活動を行い、発表会を通じて地域住民に自分らしい暮らし方を考える機会を創っています。

### ついすみ大洲 発表会

#### 活動発表

橋本伸子 氏

ついすみ大洲に参加するまでは、人生の最期を考えるのは、まだ先のことだと思っていました。学びを通して私は、今から考えておくことが大切なことだと実感しています。



#### 朗読劇 『命の輝き』



人生の最期が近くなった母親が、自分らしい生活を続けるために行った、子供たちとの「家族会議」を朗読劇で発表。

#### 講演会

講師：特別養護老人ホーム愛華の郷  
施設長 阿井孝訓氏

「藤枝市内の介護施設の現状」と題し、市内の特別養護老人ホーム等の入所対象者や利用料、これまで関わった高齢者の状況を交え高齢者の生活を分かりやすくお伝えいただきました。



\*参加者感想\*

- ・大洲地区で多くの高齢者が活躍していることを自慢したいと思った。
- ・いくつになっても人との交流が必要だと実感している。町内会の役員さんをはじめ多くの地域の皆様に声かけをしていきたい。

### ついすみ青島 公開講座

#### 活動発表

関口政子 氏

1200g、超重症児で生まれた娘を27年間育て、看取りをしました。娘が「一生懸命生きること」を教えてくださいましたと実感しています。ついすみ青島への参加などを通して自分の時間を過ごしていきたいと思えます。



\*参加者の感想\*

- ・藤枝でも往診してくれる医師がいることが分かって良かった。
- ・苦痛をやわらげる医療があることが分かった。
- ・最期まで自分らしく暮らしたいと思った。

#### 講演会

講師：藤枝市立総合病院  
内科 甲田 証医師

甲田医師の就職した時代の医療から現在の医療の変遷を交え、これまでに在宅医療で出会った人たちの看取りの姿を交え、個々人の最期の迎え方（看取り方）を教えてくださいました。「自分の人生、主体性を持って生きることが大切」と強調され、必ず来る自分の最期の迎え方を考える機会となりました。



バックNoの検索は

